

ハンガリー語と日本語の比較

ハンガリー人は他の国に住んでいる人に比べて簡単に日本語が勉強できて、日本語が上手に話せるようになると言われていた。例えば、イギリス人にとって日本語の勉強はとても難しい。でも、どうしてハンガリー人は他の人により日本語を簡単に勉強できると言われているのだろうか。ハンガリー語と日本語には何か関係があるのだろうか。一方、日本人にとってハンガリー語はイギリス人にとってのハンガリー語のように難しい言語だと思われている。それはなぜだろうか。

少数の学者による主張だが、昔、日本人とハンガリー人は同じ所（ウラル山脈の辺）にいた人かもしれないと言われている。その後、一部は東へ行き日本人となり、一部は西へ行きハンガリー人となった。だからハンガリー語と日本語は昔は同じ言語だった。これに関して、19世紀にたくさんの本が出版された。まず最初の本はユリウス・ハインリヒ・クラプロートによって書かれた「アジア・ポリグロッタ」という本である。その本は最初1823年にパリで出版された。このドイツ人の学者は日本語や中国などアジア言語をフィンウゴル語派に比較した。そしてたくさん似ている言葉があることを記した。

ハンガリー人の学者もそのテーマに関して研究した。一番有名な人はカザール・ラヨシュ(Kazár Lajos)という学者である。カザール博士によって1996年に書かれた「日本語とハンガリー語は親類関係にあるか」という本ではハンガリー語の言葉とフィンウゴル語派の言葉を日本語と比較している。そしてたくさん似ている言葉を集めた。



カザール・ラヨシュ



日本語とハンガリー語は親類関係にあるか

現代、ハンガリーで住んでいる日本人もそのことに関して研究している。現在ハンガリーの大学で教えている後藤史与先生もこれについて研究している。

しかし、学者の大部分はこの説は正しくないと言っている。一体どちらが正しいのだろうか。

とりあえず、以下二つの言語を3つのグループに分けて比べて見よう。最初のグループは、ハンガリー語と日本語の両言語で発音も意味もだいたい同じものである。発音はちょっと違うが、確かに似ている。

例：

日本語	ハンガリー語
塩	só
ぐるぐる	gurul
よい	jó
黒い	korom
食む	hamm
ぽつん	pottyán
のそのそ	noszogat
白鳥	hattyú
鷺鳥	gácsér

二番目のグループは、日本語とハンガリー語の言葉の発音はだいたい同じだが、意味が違うものである。

例：

日本語	ハンガリー語	日本語の意味
廊下	róka	狐
嫌い	király	王様
月	cuki	可愛い
豚	buta	ばか
ばか	baka	兵士
はい	haj	髪
勝敗	sóhaj	ため息
今	ima	祈り
島	sima	滑らか
草	kusza	むちゃくちゃ
傘	kasza	大鎌
蕎麦	szoba	部屋
貧乏	bimbó	木の蕾
基地	kicsi	小さい
課長	kacsó	女の手

三番目のグループは似ている文法・語順である。

例：

私は佐藤景子です。	Én vagyok Szabó Klára.
昨日映画館で映画を見ました。	Tegnap a moziban filmet láttam.
今日米とパンを食べました。	Ma rizst és kenyeret ettem.

簡単な文の場合、二つの言語の言葉の順番はほとんど同じである。

日本語とハンガリー語が元々同じ言語であったかどうかはわからないが、確かに日本語とハンガリー語には似ているところがある。このため、ハンガリー人にとって日本語は簡単な言語なのかもしれない。ではなぜ日本人はハンガリー語が難しいと言うのか。おそらく理由は、文字の違いにあるのではないかと思う。（もちろんハンガリー人にとっても日本語の文字は難しいが、日本人は言語について比べるときまず文字を見るのに対し、ハンガリー人は音で比べるのではないかと思う。）

みなさんは日本語とハンガリー語は特別な関係があると思いますか？

キライー・タマシュ